天栄中だより

鈴鹿市立天栄中学校
510-0258 鈴鹿市秋永町 1839
Tel 059-386-0444 Fax 059-386-0445
校長 山中　喜宏

天栄中校区における義務教育学校の設置方針について

天栄中学校区では、こどもたちの未来に向けた新たな教育環境の構築をめざし、2032（令和14）年度を目途に、「義務教育学校」開校に向けた検討を進めています。

今回は、鈴鹿市教育委員会が策定した「義務教育学校設置方針」の概略をお知らせいたします。

１　設置方針について

「設置方針」とは、義務教育学校の開校に向けた基本的な考え方や今後の検討の方向性をまとめた土台（指針）です。令和8年9月に鈴鹿市教育委員会によって策定されました。

今後は、具体的な内容を定める「設置計画」をつくっていくにあたり、保護者や地域の皆様、学校と意見を交わしながら議論・検討をスムーズに進めるための出発点となります。

２ 義務教育学校をつくる理由・利点（メリット）

【つくる理由と背景】

少子化による児童生徒数の減少や社会環境の変化に対応し、こどもたち一人ひとりが主体的に学び、自ら考え行動する力を育むためです。小学校から中学校までの9年間を一貫して見通した連続性のある教育を行うことで、持続可能でより質の高い教育環境を整えます。

【義務教育学校の３つの利点（変革メリット）】

＜ 児童生徒：中一ギャップの軽減 ＞

学習や生活スタイルの急激な変化を緩やかに移行させ、９ 年間継続して指導・支援することで、中学校進学時の不適応（いわゆる「中一ギャップ」）の緩和・解消を図ります。

＜ 教職員：一体的な組織運営 ＞

一人の校長のもとで小・中の教職員が一つのチームとなり、児童生徒の日々の情報を共有します。小学校教員のきめ細やかな指導と中学校教員の専門的な指導を融合させ、より手厚い教育を実現します。

＜ 教育課程：柔軟なカリキュラム ＞

９ 年間を発達段階に応じた学年区分（例：4−3−2制など）に整理し、基礎・基本から活用・探究へと段階的に学べる柔軟なカリキュラムや、地域ならではの独自教科を設定できます。

３ 義務教育学校設立までの流れ

【大きなロードマップ】

開校目標である 2032（令和14）年度４ 月に向けて、ソフト面（計画・組織）とハード面（施設設備）の両面から段階的に進めます。

< ソフト面（計画・準備） >

- **令和８年度** ： 設置方針の策定（今回）
- **令和９年度** ： 設置計画（素案）の作成・意見公募（パブリックコメント等で広く「意見聴取」）および設置計画の策定
- **令和 10 年度～**： 保護者や地域住民の方々が参加する「準備会議」を立ち上げ、具体的に協議

< ハード面（施設整備） >

- **令和８年度後半～10 年度** ： 基本計画（課題整理・概算工事費の検討）
  基本設計（配置や機能の具体化）
  実施設計（詳細設計）を順次実施
- **令和 11 年度～** ： 入札・契約、工事に着手
- **令和 14 年度４月** ： 開校予定

【天栄小学校を候補地とした理由と調査について】

< 選定理由 >

市有財産の有効活用という考えに基づき、天栄中学校区内の既存学校施設を対象に、**位置、敷地面積、既存施設の築年数、安全性、スクールバスの運用、実現性などを総合的に**検討・整理した結果、**天栄小学校の敷地**を対象として、義務教育学校の設置に向けた**可能性調査**を進めることとなりました。

< 現在の調査と今後のステップ >

現在、**天栄小学校の敷地**を対象とした**「可能性調査」を進めています。今後は、学年をこえた交流ができる「施設一体型」**の学校整備を目指し、基本計画・基本設計・実施設定のプロセスを通じて、安全性や機能性を確保するための詳細な調査・設計を進めていきます。

なお、**鈴鹿市役所ホームページの鈴鹿市教育委員会のページにこの設置方針が掲載されています。URL を掲載しますので、ご確認ください。**

<鈴鹿市ホームページ>

○ 天栄中学校区における取組
https://www.city.suzuka.lg.jp/kyoiku/1003079/1003111/1012197/index.html

○ 天栄中学校区における学校再編計画 ～義務教育学校設置方針～
https://www.city.suzuka.lg.jp/_res/projects/default_project/_page_/001/012/197/settihoushinn.pdf